

※ 全体でA4縦 4 ページに収まるように記述してください。

チーム ID	S210318001	チーム名	王バーフロー
--------	------------	------	--------

◆チームの紹介◆

この項目ではチームやメンバーの紹介、チーム全体の基本コンセプトを記述します。

チーム紹介

「実際に手を動かしテスト設計をする機会を得たい！」という目的のもと集まった QA エンジニア・開発エンジニア 5 人で構成されているチームです。

全員が自社開発の企業で働いているエンジニアであるという特色があります。

全体のコンセプト

自社開発という立場においてのテストを想定したテスト設計を目指しました。

既存のテストベースからテスト観点を作成するだけでなく、自社開発という立場からテスト観点を作成するアプローチもとります。

チームのテスト設計の強み・アピールポイント

自社開発という立場においてのテストを実現するため、特にテスト立場についてのテスト対象分析に力を入れました。

テスト設計コンテスト U30 クラス

アピールシート

◆チームの戦略・方針◆

この項目では、チームの作業の進め方や成果物の特徴を、設問に従って記述します。他文書(審査対象の成果物など)への参照で記述しても構いません。

【プロセスの説明】

チームのテスト設計のプロセス(テスト要求分析・テスト詳細設計といったアクティビティと、テストケースといった成果物の関連性)の全体像を、モデル(PFD やアクティビティ図など)や文章で示してください

テスト立場についてのテスト対象分析を通してベルソナや胡麻印まほうびん(株)のドキュメントを作成しました。ベルソナや胡麻印まほうびん(株)のドキュメントから目的を定め、目的を満たすようにテスト要求分析・テストアーキテクチャ設計・テスト詳細設計・テスト実装をする計画を立てました。

テストベースからテストケースまでのトレーサビリティをどのように確保しているか説明してください

仕様書で定義された要求仕様番号をテスト仕様書に組み込んでいる。

【テストの構造の説明】

採用したテストアーキテクチャが一般的なものより優れているポイントを記述してください

顧客が求める目的を満たすようにマインドマップを使い分析を行い、NeverMustWant のフレームワークにカテゴライズした上で必要なテストを優先順位順に行うように努めました。

テストベースに対する網羅性の確保(目的を満たすようにテストベースを網羅する)で、どのような工夫をしたか記述してください

要求仕様におけるテストの網羅率を計測するようテストケースを作りました。

テストベースに対するピンポイント性の確保(無駄なテストを作らない)で、どのような工夫をしたか記述してください

テストアーキテクチャ設計でテストの全体像を考えテストを作成しました。
また、要求仕様ではなく、テストの実施順を並び替えることでテストケースの観点毎にテストをできるように工夫しました。

【活用した技法や手法の説明】

以下のテスト設計技法のうち、今回使用したものを選択してください(記述内容のうち、使用した技法を残し、使用していないものを削除してください。各定義は JSTQB に従います)

状態遷移テスト、チェックリストベースドテスト、その他(リスクベースドテスト)

テスト設計コンテスト U30 クラス

アピールシート

テスト設計についての既存の方法論(HAYST 法、VSTeP、ゆもつよメソッドなど)や体系(ISO29119、STEP など)で、今回使用したものがあれば記述してください

VSTeP (コンテナモデリング) 、

NeverMustWant 分析 (現場で使える要求分析 = テストアーキテクチャ・モデルの考察, JaSST Kansai 2014)